

薬効群	商品名	成分名	規格	薬価(円)	用法用量	適応症	使用上の注意
ビスホスホネート製剤 (第二世代)	アレンドロン酸錠	アレンドロン酸ナトリウム	5mg	38.5	1日1回 1回1錠	骨粗鬆症	非定型骨折に注意！！ 使用時には検査と評価を行うこと！！ (※下記参照) 胃腸障害は連日服用製剤の方が週1回製剤よりも多い。 顎骨壊死、大腿骨転子下及び近位大腿骨骨幹部の非定型骨折
	ボナロン点滴静注バッグ		35mg	255.6	1週間に1回 1回1錠		
			900µg/バッグ	4627	4週間に1回(30分かけて点滴静注)		
ビスホスホネート製剤 (第三世代)	アクトネル錠(試用)	リセドロン酸ナトリウム	17.5mg	620.7	1週間に1回 1回1錠	骨粗鬆症	
	ボノテオ錠	ミノドロン酸水和物	50mg	3476.9	4週間に1回 1回1錠		
選択的エストロゲン受容体モジュレーター(SERM)	ラロキシフェン錠	ラロキシフェン塩酸塩	60mg	61	1日1回 1回1錠	閉経後骨粗鬆症	深部静脈血栓や視力障害に注意 <休薬>長期安静期等)に入る3日前には服用中止し、歩行可能になるまで投与中止
	ビビアント錠(試用)	バゼドキシフェン	20mg	109.7	1日1回 1回1錠		
副甲状腺ホルモン製剤	フォルテオ皮下注キット	テリパラチド(遺伝子組換え)	600µg/キット	43334	1日1回20µg(自己注)	骨折の危険性の高い骨粗鬆症	悪心、嘔吐、頭痛、倦怠感。使用期間に注意
	テリボン皮下注用	テリパラチド酢酸塩	56.5µg/バイアル	10837	1週間に1回56.5µg(皮下注)		
モノクローナル抗体製剤	プラリア皮下注(試用)	デノスマブ	60mg/シリンジ	29296	6ヶ月に1回60mg(皮下注)	骨粗鬆症	低カルシウム血症、顎骨壊死、大腿骨転子下及び近位大腿骨骨幹部の非定型骨折
ビタミンK製剤	グラケーカプセル	メナテトレノン	15mg	34	1日3回 1回1錠	骨粗鬆症	ワルファリン投与中の患者には禁忌
活性型ビタミンD ₃ 製剤	エディロールカプセル	エルデカルシトール	0.75µg	99.2	1日1回 1回1錠	骨粗鬆症、ビタミンD代謝異常に伴う諸症状の改善	高カルシウム血症
	ロカルトロールカプセル	カルシトリオール	0.25µg	30.4	1日2回 1回1錠		
	カルフィーナ錠	アルファカルシドール	0.5µg	5.8	1日1回 1回1錠		
			1.0µg	8.9			
	ワンアルファ内用液	0.5µg/mL(10mL/ビン)	66.3	成人:1日1回 1回0.5~1.0µg 小児:1日1回 1回0.25~0.5µg			
カルシウム製剤	アスパラCA	アスパラギン酸カルシウム	200mg	5.6	1日6錠(分2~3)	代謝性骨疾患におけるカルシウム補給	便秘、胸やけ、血管障害助長の報告あり

<ビスホスホネート薬治療時に必ず実施すること>

- ①治療開始前に骨吸収マーカー・骨形成マーカーを測定。
- ②投与開始3ヶ月後に骨吸収マーカーを治療効果評価のために再測定。
- ③基準値に応じて治療継続または変更を検討。
- ④6ヶ月~1年程度の間隔で骨形成マーカーを再測定。
- ⑤投与開始3年後で必ず骨折リスクの評価を行う。
- ⑥基準値に応じて薬物治療を再検討または継続。基準値の下限値以下が長期に渡れば中止を考慮。
- ⑦定期的に大腿骨部の鈍痛またはうずく痛みが起こっていないか確認する

※評価が困難な場合は、整形外科医に相談すること。

※大腿部痛は非定型骨折の症状となる場合が多い。

(参考文献:骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン 2015年版)